

結婚支援に関する全国連携会議 ご報告



婚活サポーターの皆様と

平成27年7月27日(月)、国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室にて、全国の地方自治体の結婚支援担当者53名、現場でご活躍している婚活サポーターの方々24名にお集まりいただき、内閣府主催で「結婚支援に関する全国連携会議」を実施いたしました。



地方自治体の皆様と

基調講演

山田昌弘氏
(中央大学文学部教授)白河桃子氏
(少子化ジャーナリスト、相模女子大学客員教授)

山田昌弘氏より社会学的な観点から、近年の若者を取り巻く未婚化の現状や理由、「絶食化」といわれる交際状況、また、結婚支援の課題として、「経済力、コミュニケーション力、見た目に自信がない男性」の存在を前提とした施策の必要性が提示されました。

また白河桃子氏より女性の「両立可能な安定した仕事」の必要性や、各自治体が未婚者の人口動態、データ(独身男女、仕事、三世帯同居など)を把握し、婚活だけでなく雇用支援、定住支援など、どこを重点とするか、分析してから対策することの提案、結婚支援の手法として条件を超えた価値観マッチングの可能性の紹介がありました。

事例発表

全国に先駆けて結婚支援事業を推進してきた茨城県と、ビッグデータなど最新技術も活用している愛媛県より事例発表がありました。また板本氏より、愛媛県と作成したボランティア用の対応をまとめた事例集の紹介等がありました。

<有識者より講評>

茨城県保健福祉部子ども家庭課
少子化対策室長補佐 今泉達夫氏
いばらきマリッジサポーター連絡協
議会会長 大久保 勝弘氏えひめ結婚支援センター
事務局長 岩丸 裕建氏、
能智 千恵子氏

<ご挨拶>

富山県南砺市
婚活倶楽部
なんとおせつ会 副会長
山田 由理枝氏NPO法人全国地域
結婚支援センター代表
板本 洋子氏

グループワーク



課題の共有と、解決方法を討議するグループワークでは、自治体からは、婚姻数の把握や女性会員の確保について、婚活サポーターからは、マッチングに至らない要因や交際成立後の継続支援のあり方などの課題が挙がり、活発な議論がなされました。参加者からは、情報・課題の共有、ネットワークができてよかった、中には解決の糸口が見つかったという感想も。有村大臣も駆けつけてくださり、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

有村大臣の熱い激励の言葉に、皆さん大変力づけられたようです。最後はハイタッチも！

